

## 東京都退職校長会 杉並支部

第149号 令和4年6月7日発行

1p I 杉並支部の活動 講演会 理事会 クラブ 杉歌会 杉行会 II 都会長 都・全国  
2p III 講演会報告 4p IV 会員情報 V 原稿募集 VI 編集後記

東京都退職校長会杉並支部 支部長 井口 茂 メール keyaki.shigeru@gmail.com FAX・電話 03-3396-7923

### I 東京都退職校長会杉並支部の活動

- 1 講演会 6/7 火 14:10 子供園教育の現状と今後 区立子供園園長・西荻北 園長 石床 美穂子先生
  - 2 理事会 6/7 火 14時40分 会場 阿佐ヶ谷中学校開放会議室
    - (1) 東京都退職校長会杉並支部 規約改正 第2条 本支部は会員相互の親睦をはかり併せて杉並区の教育と文化の振興に寄与することを目的とする。第2章 会員 第5条 本支部の会員は東京都退職校長会の会員で、杉並区内に居住する者を以て組織する。【改正】本支部の会員は東京都退職校長会の会員で杉並区内に居住するか、勤務した者とする。
- \*クラブ活動 囲碁 6/24 金 10時～ 荻窪区民センター第7集会室 園芸 6/8 水 10時～高村邸  
散歩 6/20 月 10時 原宿 明治神宮 南参道入口集合 峯岸 俳句 6/16 木 13:30 八成区民集会所 1階 和室 次回以降 7/21 8/18 9/15 10/20 11/17 12/15
- \*同好会「杉歌の会」6/11 土 14時～15 高円寺学園 ¥500 \*杉行会 厚生部 検討中
- \*今後の講演会 火曜日 14時10分から ③9/20 杉並の歴史 峯岸 誠 ④12/6 杉並区立中学校・小中一貫校の紹介 学園長 松浦素明 ⑤2/7 講演 未定
- \*新年会(案) 1/7 土 時～ 会場 未定  
(会費集金 理事は担当の会員に「会費の集金についてのお願い」を配布、集金、今回持参)

### II 東京都退職校長会 会長 多田 丈夫 支部長会 4月20日水 総会 5月16日月 東京都多摩図書館開催

- (1) 内容 ① 会員増強 ② 創立70周年記念式典 令和5年5月16日(火) 調布市文化会館たづくりくすのきホール(2階) 祝賀会は予定なし ③ 都教委・現職校長会並びに関係諸機関との連携強化 ④ 新型コロナに対し、自己防衛に徹するよう啓発していく。
  - (2) 総務部 ① 令和3年度会員数 2,201名 軽減会員 56名 免除会員 18名 新会員 41名 退会 41名 逝去 67  
② 厚版名簿 A4 縦型 ③ 定期総会 5/16 講演 生涯学習部 国際教育(ネパールの女子教育 岩谷榮子)
  - (3) 会計部 会費納入  $2,500 \times 2,200 + 1,300 \times 56 = 5,956,100$  (前年より 383,300 減) 寄付金 互助会利用の周知 全連退へ  $2,265 \times 400 = 906,000$
  - (4) 創立70周年実行委員会 協賛金 一口 1,000円 後日、連絡  
支部長会予定 第一回 4/20 水 7/27 水 10/26 水 1/25 水 4/19 水
  - (5) 全国連合退職校長会・東京都退職校長会 祝米寿 中川廣子 塩谷久夫 斎藤範里 小杉信 功  
労会員 川端啓三 瑞宝小綬章 金原達人 横倉弘 瑞宝双光章 山口和久
- 再掲 会計担当者が交替した場合は、支部活動費 1,000円(杉並の場合)と本部からの助成費 300円を除いた金額 2,200、満95歳を超えた場合は次の年度から会費を軽減し、1,000円を本部へ納入する。会費納入は本部会計からお渡しする郵便局の郵便振込取扱票(振込用紙)を使用する。

### Ⅲ 講演会報告

紹介 井口 茂 今日、杉並区立の小学校校長会会長さんに新たにられました天沼小学校の校長松野泰一校長先生においでいただき小学校教育について講演を頂きます。よろしくお願ひいたします。  
あいさつ 松野 泰一先生 本年度杉並区立小学校校長会会長になりました天沼小学校の松野です。小学校教育の現状について用意した資料に基づき紹介させていただきます。

1 学校紹介 天沼小学校は杉並第五小学校と若杉小学校が統合してできた学校です。本校が創立されたのが15年前で、その時、児童数は384人だったのが、今709人で子供が増えすぎ教室が足りない。そこで校舎を増築しています。

本校の特色はホームページで見ることができる。私は毎日校長室だよりをブログで更新している。開設して5年目になるが、現在、カウンターが206万になっている。

こんなに数が多いのはコロナ禍で学校公開がないので、保護者は、校長室だよりを見て、授業や他の活動を見ることが出来るので、カウント数が上がっていると思う。

本校の特色は三つある。一つは地域運営学校的な活動、二つ目はICT教育、三つ目はエコスクールとしての校舎。このようなことから本校の見学者が非常に多い。多い時にはひと月に全国から3、4回の視察がある。去年の9月には前の菅総理・文科大臣らが来校し、授業の視察とコロナ禍での学校状況について話をした。

(1) 天沼小学校では、目指す教育としてキーワードを定めている。(学校案内にあり)

「おもしろいこと、しよう」これは、勉強がわかる面白さ、人とかかわる面白さ、人の役に立つ面白さなどを感じ、最終的には生きる面白さを感じて、地域の役に立つ人間になって、地域の構成員となって行くことを期待している。

(2) 平成22年に設置された学校運営協議会により、地域運営学校(コミュニティ・スクール)として地域と連携しながら教育活動を進めている。

(3) 特色ある教育活動「不易と進化」 不易としては日本の伝統文化、キャリア教育、読書教育。進化としては、ICT教育、プログラミング教育、情報モラル教育を進めている。

(4) 伝統文化教育 全員が茶道の体験をする。地域の方が和服を着て御点前を指導してくださっている。

(5) お話会 コロナになって、お話は口が見えないと内容がよく伝わらないので、前にスクリーンを置いて子どもたちに飛沫が飛ばないようにして話を聞くようにしている。

(6) 5年生のキャリア教育 天沼会社経営体験プロジェクトというのがあり、子どもが起業体験をする。会社を創って、株式を売って、資金を集め、それを元手に商品開発し、販売し、得た利益を株式に配当を付けて返します。このような起業体験はいろいろなところから評価されている。

(7) 6年生の地域学習 「私たちの天沼」というテーマで、地域の方々を招いて、お話を聞いたり、自分たちで自分たちの町を良くするために、どうしたらよいか、考える学習をしている。

(8) 進化 どんなどころでICTが使われているかということ、デジタル教科書を使った授業、それからデジタルコンテンツ教材。これはネット上でNHK for Schoolなどのように動画が見られるものがたくさんある。そういうものを使っての授業。あと書画カメラと言って、カメラを使って提示する。家庭科で手元の様子を見せたりするのに使う。さらにタブレット端末を繋ぐことで情報のやり取りがで

きる。今は体育館に全員が集まることは難しいため、体育館の様子を教室に配信し子どもたちが見る。さらに子どもたちも調べ学習をしたり、まとめをしたり、子どもたちがプレゼンテーションをしたり、意見交換したり、画面に一人一人の意見が市松模様のように映し出される。普通の授業では、これまで意見を出さなかった子の意見も表示される。算数のドリルを活用したり、観察で撮影した教材を活用したり様々な意見交換も可能。3年生が写真を取り組んだ新聞づくりに活用することもある。

プログラミング教育は難しいと思われるかもしれないが、順番に指示して行くとロボットは指示された通りに動くことなどを学ぶ。ロボットやドローンなどもプログラミングで動かす体験をしている。

- (9) 情報モラル教育は大切。良くない表現を書きこまないことや、ネットの使い過ぎがあったりするのを防ぐために大切である。
- (10) その他 天沼小学校は児童数が増え、教室が足りないため、狭い校庭に高床式で子どもが運動できる校舎を増築中で、今年の9月完成予定。

## 2 杉並区の教育ビジョン 2022(私も教育ビジョンの審議会委員をしていた)

この前の 2012 の教育ビジョンは「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」だった。馴染みのあるキャッチフレーズだと思う。この教育ビジョン 2012 を踏まえて、今回の杉並区の教育ビジョン 2022 は、令和 2 年度から一年かけて検討し、令和 3 年 11 月に策定した。教育ビジョンは通称で正式には、杉並区教育振興基本計画という名称である。

その検討委員会の中で、2012 の中で書かれている、こんな力を育てたいと言うものを今回は全て新しいものにするということではなく、こういったものも視野に入れた上で新しい次の教育ビジョンを作っていこうと検討した。審議会の中で、目指す子ども像とか目指す人間像はやめようということになった。それは何故かと言うと目指す子ども像というのが指導する側、行政側が押し付けるものであって、これからの教育というのはみんなで、自分たちで創っていこうという区民の側からの言葉にしたいということ。そして今回の教育ビジョン 2022 のキャッチフレーズは「みんなのしあわせを創る杉並の教育」となった。誰もが分け隔てなく大切にされ、社会の創り手として生きる。みんなが単なる受け身でなくて、自分が社会の創り手として動いて行くことが大切である。そして、学校・教育行政だけでなく地域も含めて、ひとり一人が教育の当事者として心掛けて行く。さらに学びの成果を贈りあう、自分が受けたことを次世代にプレゼントする。そして、社会を創る当事者として皆が考える。このようにして教育ビジョン 2022 が創られた。今、教育ビジョン 2022 を受けて、教育委員会が推進計画を策定しているところである。

## 3 コロナ禍における学校の状況でということでお話をする。

- (1) コロナ対応 杉並区立学校感染症対策ガイドライン 令和 4 年 2 月改定を今年度も活用する（注：5月に再改定された）。常時不織布マスクを着用する。教育活動は学校の中では間隔を空けて行う。密を避ける。換気をする。大声を出さない。こういうことに注意して教育活動を行う。
- (2) 生活科見学や社会科見学 杉並区はとてもありがたいことに貸切バスの予算をつけてくれているので貸切バスを使って実施する。
- (3) 体育的行事 学校によって児童数が小さな 100~200 人ぐらいから大きな 800 人というところがあるので、それによって実施方法を検討、変更しなければならない。小さな学校だったらできることも大きな学校だと学年ごとにやるというようなことが多い。

小学校の場合は学年別実施して保護者は一人までとか二人までとかそういう制限をつける。昨年

度は、1年生の時間に1年生の保護者たちは競走とダンスを見て帰り、これを6学年繰り返すという  
ような形での学年別運動会が多かった。 以上

#### IV (1) 会員情報

高齢者叙勲に思う

長嶋 孝夫

気が付いたら、公務を退職してから、すでに28年が経過したことになります。いわゆる米寿になりました。教職経験のお陰で高齢者叙勲や、所属団体からの祝意などがあり、ありがたい思いをいたしております。世の中の多くの方が皆さん一生懸命努力して社会のために貢献したにもかかわらず、校長という職業を全うしたために国家が進んで叙勲してくださるわけですから、これはもう感謝以外の何者でもありません。

個人的なことですが、私の父は戦時中、金鷄勲章を拝受しています。やはり国家のために働いたということになるのですが、形は違いますが、父はそのことを生涯誇りに思っていました。

いつのまにか自分が国家から感謝される立場になると、やはり残る人生も、誇りに思って生きて行くという気持ちになりました。

退職時に教育委員会に功績調書を提出いたしました。それが大事な推薦書となっていたそうです。校長は誰もそうですが、自分の業績を他人に自慢するようなことは致しませんから、選挙に立候補する方々のようにたくさんの事項を並べて書くこともいたしません。しかし実際に現職中はそれぞれが真剣に職務に向かい合っていたわけですから、無事退職できて、このような叙勲という形で国から感謝されるという形になったことと思います。

それには、多くの校長会先輩各位がそれにふさわしい活躍をしたことが、この制度を継続した結果になったと思います。

これを機会に残る人生も意味のあるようにいたしたいと新たな気持ちになっています。自分を見つめ直し、さらには先輩校長に感謝する思いを深くしているこの頃です。

#### (2) 会員情報

浜中 尚治 令和4年5月26日ご逝去 先生の温厚なお姿を思い出します。ご冥福をお祈り申し上げます。

V 原稿募集 皆さんの原稿を募集しています。上記メール・郵便・Faxで送付お願いいたします。

#### VI 編集後記

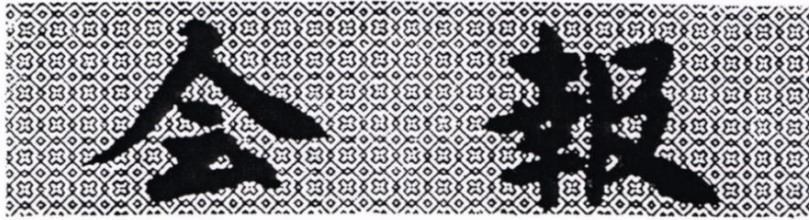
コロナ情報で東京都の感染者数は6月6日で1013名、杉並区では6月4日で58名、5日で21名です。このような中、近隣の小学校校庭では、町会や青少年育成委員会やPTAOB おやじの会が、3年ぶりに夏休みラジオ体操会やこども盆踊りの開催に向け準備を始めています。

学校でもコロナ禍の中、教育活動の充実に向け校長先生、先生方がご努力されていることに、敬意を表する次第です。

東京都退職校長会は、来年創立70周年を迎え式典を計画しています。

杉並支部としても式典を支え、皆さんの忌憚のないご意見をいただき、本会の充実を図ってまいります。今後とも、よろしくご支援・ご協力をお願い申し上げます。 井口 茂





## 東京都退職校長会 杉並支部

第150号 令和4年9月20日発行 1p

I 杉並支部の活動 講演会 理事会 クラブ 杉歌  
会 杉行会 II 都会長 都・全国 2p III 講演会報  
告 4p IV 会員情報 V 原稿募集 VI 編集後記

東京都退職校長会杉並支部 支部長 井口 茂 メール keyaki.shigeru@gmail.com FAX・電話 03-3396-7923

### I 東京都退職校長会杉並支部の活動

- 1 講演会 ③ 9/20 火 14:10 杉並の歴史 峯岸 誠 先生
- 2 理事会 9/20 火 14時40分 会場 阿佐ヶ谷中学校開放会議室  
\*クラブ活動 囲碁 10/29 金 10時～ 荻窪区民センター第7集会室 園芸 10/12 水 10時～高村邸  
散歩 涼しくなったら紹介 峯岸 俳句 10/20 木 9:30 四宮区民集会所 1階 和室 11/17 12/15  
\*同好会「杉歌の会」検討中 \*杉行会 厚生部 (11月～12月) 検討中  
\*今後の講演会 ④12/6 杉並区立中学校・小中一貫校の紹介 学園長 松浦素明 園長先生  
⑤ 2/7 本年度の取り組みとこれからの方向  
\*新年会 (案) 検討中

### II 東京都退職校長会 会長 多田 丈夫 支部長会 9/5 月 新宿区 コズミックセンター 3階

- 1 東京都教員採用担当 教員の補充が難しくなる。非常勤講師の年齢制限が無くなった。  
退職校長会の活躍が求められる時代の幕開けでしょうか。  
また、平成21年(2009年)導入した免許更新制が令和4年7月1日廃止となりました。
- 2 ① 創立70周年記念式典 令和5年5月16日(火) 調布市文化会館たづくりくすのきホール  
(2階) 祝賀会は予定なし ② 会員増強 ③ 都教委・現職校長会並びに関係諸機関との連携強化

### III 講演会報告

紹介 井口 茂 教育の始めは子供園にあり。子供園会長 石床美穂子 先生にご講演いただきます。

あいさつ 石床美穂子 初めまして杉並区立西荻北子供園の園長の石床美穂子と申します。本年度園長会  
会長も務めております。今日は子供園についての話を簡単にさせていただきます。

杉並区には子供園は6園(高円寺北、下高井戸、成田西、堀ノ内、高井戸西、西荻北)あります。今は  
各園とも専任の園長です。

古くは、元々区立の幼稚園でした。幼稚園の時代は、連携校の小学校の校長先生が兼任園長というこ  
とで、校長先生には小学校と幼稚園でも力を尽くしていただいていたいました。

子供園に転換いたしまして10年以上になりますが、平成22年に保護者の就労の有無にかかわらず幼児  
教育を受けられる施設ということで、杉並区立幼稚園から杉並区立子供園になりました。

子供園は、認定こども園と違ひまして子供という字が「漢字」になっています。

「認定こども園」は子供が「ひらがな」です。杉並区独自の子供園ということで幼稚園の認可でやってお

りますので教育委員会に教育課程を出して教育をしています。

幼稚園教育要領をもとに教育課程を作成して幼稚園型の短時間保育児と保育園型の長時間保育の園児と一緒に過ごす時間を全員保育として教育を進めています。

遊びを通して学ぶ子供園では、幼児が十分に体を動かし主体的に遊び込むことで丈夫な体と豊かな心を養います。

子供園の一日は、幼稚園型のお子さんは 8 時 50 分から来園ですが、保育園型は働いている親御さんどちらも働いてる方は 7 時半からお預かりしています。

8 時 50 分に全員が揃って、遊んだり学級全体の活動をしたり、お昼を食べたり、遊んだりして、帰りの会をして過ごし、帰ります。

\*子供園の一日

登園→遊び→学級全体の活動→昼食→遊び→帰りの会→降園

```
graph LR; A[登園] --> B[遊び]; B --> C[学級全体の活動]; C --> D[昼食]; D --> E[遊び]; E --> F[帰りの会]; F --> G[降園]; G --> H[長時間保育]; G --> I[子育て支援 園庭開放];
```

この流れについて、話しさせていただきます。これには二つのパターンがあります。

\*第一のパターン

登園 幼稚園型のお子さんは 8 時 50 分からなんです、保育園型のお子さんは 7 時半からお預かりしています。

遊び 8 時 50 分に全員が揃って、遊んだり学級全体の活動をしたりして過ごします。

お昼 食事を食べます。

遊び 自分で選んだ遊びをします。

帰りの会 一日の活動の振り返りや、明日の予定など話します。

降園 幼稚園型のお子さんが帰るということです。

長時間保育 この後、別れて長時間の子どもは、午睡や休息をします。その後おやつを食べたり遊んだりして、順次帰りを待ちます。

\*第二のパターン

短時間・長時間の子どもたちは、同じクラスで、みんな一緒に過ごしています。

長期休業中の夏休み冬休みも春休みも長時間の子は登園しています。土曜日も同様ですので、子供園が閉まっているのは年末年始の 6 日間と日曜日・祝日だけで、先生たちはローテーションで勤務をしています。

昨年度西荻北子供園は杉並区の教育委員会の教育課題研究指定園として研究発表をいたしましたので、その内容を含めて幼児教育でどのようなことを大事にしてるかをお話しさせていただきます。

幼児教育において育みたい能力として ①知識及び技能の基礎 ②思考力、判断力・表現力の基礎 ③学びに向かう力、人間性、の三つの柱が 30 年の幼稚園教育要領の改訂で示されました。

これは生きる力の基礎であり、小学校以降の子どもの発達を見通しながら遊びを通して総合的に育ていくことが大切であると示されています。

このことを理解した上で西荻北子供園の日々の保育の現場から資質能力の具体的な姿を改めてとらえて

いく中で、遊びの中での学びや環境援助のあり方について考え、園の保育を充実させ質の向上を図りたいということで、昨年、その前年と研究してきました。

**研究主題**は「幼児期に育みたい資質・能力、幼児のやりたいが引き出される環境の工夫」です。

事例を検討し、考察を進める中でやりたいという思いが引き出される環境の観点として7つを見出しました。

- ① 自分で用具・教材を扱えるように
- ② 繰り返しやりたいと思えるように
- ③ 試したり工夫したりできるように
- ④ 表現する楽しさを感じられるように
- ⑤ 安心してものや人と関われるように
- ⑥ 興味がもてるように
- ⑦ 友達と一緒に楽しめるように

このような姿を大事にしていくと子ども達の資質・能力が育まれる、ということが分かりました。

次に小学校との接続についてです。西荻北子供園は桃井第三小学校と連携幼保小の連携の取り組みをしています。毎年授業参観や保育参加をしてきましたが、このところコロナ禍でなかなか難しいです。

昨年は研究発表を見て頂いて5歳児の遊びの事例から幼児期にどのような資質能力が含まれているかという話し合いをしました。

子供園の保育者は「小学校は教科の面から資質・能力の知識や技能、思考力・判断力を中心に子どもの育ちを見ているのではないか?」、小学校の先生は「遊びを通した育ちとは何だろう?遊びで資質・能力が育つのか?」と、それぞれ思っていました。でも話し合いをする中で小学校の先生方も学びに向かう力、人間性等も大切にされていることがうかがえました。また、小学校の先生方から、「子供園の先生は幼児の小さな変化も育ちと捉えて丁寧に読み取っていますね」と言ってくださいました。小学校でも主体的に学ぶということは重要であるということが共通になりました。このような幼保小連携の取り組みを通して幼児期に育みたい資質能力と小学校で育みたい資質能力について学びの連続性の理解を深めることができました。

子供園では、幼児期に遊びを中心とした生活を十分に楽しんで小学校につなげていくことが、すごく大事だと考えており、保育の充実をしっかりして行こうとことで今頑張っているところです。

保育の充実のためには、丁寧な援助や環境について振り返りをしっかりすること、そして意図的に日案週案に計画を入れていくことが大切です。それを繰り返していくことで生き生きと遊ぶ子どもの姿につながります。また幼児が先生や友達と考え合ったり、共感しあったりしながら一緒に過ごす楽しさ、温かさを感じられることは、とても大事だと考えます。そのために直線的具体的な体験を豊かにする環境の在り方について、しっかりと取り組んでいきたいと思えます。また、若手育成、特別支援教育、働き方改革などの課題にも、しっかりと取り組んでいきたいと思えます。

本日は、ありがとうございます。

#### IV (1) 会員情報

高齢者叙勲をいただいて

横倉弘

高齢者叙勲・瑞寶小綬章(令和3年9月1日)をいただき、会報に文章をとのこと恐縮しております。小さい時から自然に触れ合う環境に恵まれて、友人と話し合いや作業を共にして友情を深めて成長したと感じています。学校生活を思い出し、恩師の大きな温かさ、ときには厳しさを受けたことなどから教職に進

んだと実感しています。

私は現在の教育制度 6.3.3.4 より前の生徒です。小学 3 年頃は、南の国からゴムの木の幹、椰子の実 10 個が理科実験教室に散乱していました。4 年生～5 年生の時うさぎ 20 羽の飼育係、5 年生の時ブタ 2 頭飼育を 10 名で担当。兎のエサは近隣の野原で、ブタは各家の残野菜を持参し、臭い小屋の掃除などを行なっていました。5 年生の昭和 19 年 12 月ブタ小屋も兎小屋も空っぽ!? 数日後、先生から係生徒だけに兎の毛皮は満洲国（現在の中国北東部）をソ連軍から守っている日本兵の防寒襟に変わり、ブタは米国の爆弾が学校の西側を流れている善福寺川対岸で爆発し犠牲になったと説明がありました。同じころ自宅の 7m の至近距離で 500kg の爆弾破裂があり、南西側隣家で 5 人の尊い命が失われました。昨今のウクライナの現状に心が痛みます。

さて退職校長会杉並支部の PR になりますが、当支部は区内の団体で愛杉会、退職公務員連盟の 3 者連携して研修会を開いてきました。令和 4 年度は当番です。コロナウイルス状況が心配ですが楽器演奏や舞踊などをお願い中です。3 年前にはウラン鉱石(紫外線照射で黄色に光る)を出品しました。厚生部で検討中ですが、具体案が決まればお知らせします。

令和 4 年は寅年なので虎眼石など黄色縞光沢などを出品する予定です。おでかけおまちしています。また、平成 6 年から 9 年間東京都に公開講座予算がつき、豊多摩高校理科実験教室で地学実験、平成 6 年 7 月には屋上の口径 30 cm 赤道儀で 20 名の受講者が木星へのシューメーカー・レヴィ彗星の衝突痕跡の観測ができ感激、多くの思い出があります。東京都立高校理科研究会会長のころ、研究会運営、会報編集、会計などにご尽力いただいた方々に心より御礼申し上げます。

## (2) 会員情報

特になし

**V 原稿募集** 皆さんの原稿を募集しています。上記メール・郵便・Fax で送付お願いいたします。

## VI 編集後記

コロナ情報で東京都の感染者数は 6 月 6 日で 1013 名、9 月 20 日、4049 名、杉並区では 6 月 4 日で 58 名、9 月 15 日で 169 名です。

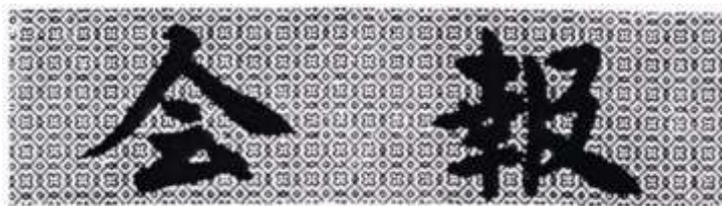
このような中、近隣の小学校では運動会の開催に向け準備を始めています。

コロナ禍の中、教育活動の充実に向け校長先生、先生方がご努力されていることに、敬意を表する次第です。

東京都退職校長会は、来年創立 70 周年を迎え式典を計画しています。杉並支部としても式典を支え、皆さんの忌憚のないご意見をいただき、会の充実を図ってまいります。

今後とも、よろしくご支援・ご協力をお願い申し上げます。 井口 茂

東京都退職校長会団体加入 東京都退職公務員連盟団体加入 —信頼の絆を大切に— 
東京都練馬区北町 5-18-15
03-3396-7231



## I 東京都退職校長会杉並支部の活動

- 1 拡大理事会 3/7(木)14時00分 本年度の活動・来年度の活動 会場 阿佐ヶ谷中学校開放会議室
- 2 講演会 第5回 3/16(木)14:05～14:35 都立高等学校の現状と今後・西高の現状と今後 校長 萩原 聡 先生  
会場 東京都立西高等学校 校長室 講演後理事会
- 3 新年度 第1回理事会 4/18 火 14:05～ 阿佐ヶ谷中学校 開放会議室で新年度の計画検討
- 4 クラブ活動 ① 囲碁 3/24(木) 10時～ 荻窪区民センター第7集会室 ② 園芸 3/17.4/12(水) 10時半 高村 邸 ③ 散歩 3/2(木) 10時荻窪駅 北口東広場 集合 観梅・吟行 済 ④ 俳句 3/16.4/20(木)
- 5 同好会「杉歌の会」検討中 6 杉行会 厚生部 コロナ禍で会の開催は中止、来年度、再度厚生部で検討
- 7 新年会 令和5年1月28日(土)11:30～14:00 高円寺「幸寿司」で開催、各自の思いを語り合い、新年度には総会を開催したいとの前向きな意見も出る和やかな会となりました。
- 8 次年度への課題 (1) 組織等の見直し ①支部長 ②副支部長 ③庶務 ④会計 ⑤厚生 ⑥広報 ⑦監査 ⑧会則 ⑨地区担当理事 ⑩支部名鑑 ⑪総会 (2) 創立70周年記念式典 令和10年1月 予定

## II 東京都退職校長会 会長 多田 丈夫 支部長会 1/25(水) 新宿区コズミックセンター 5階

- 1 退職予定者への書類の配布・都教委・現職校長会並びに関係諸機関との連携強化・会費納入者2099名
- 2 式典の成功を ①創立70周年記念式典 令和5年5月16日(火)調布市文化会館たづくり:くすのきホール(2階)
- 3 予算の10%削減、定期総会準備 令和5年6月28日(水)役員改選期 会場 未定

## III 講演会「杉並の教育と杉並和泉学園の教育」 学園長 松浦素明 先生

井口 茂 支部長 松浦素明先生には、井草中学校から杉並区立小中一貫教育校 杉並和泉学園の学園長に、さらに区立中学校の会長をされておられます。お忙しいところご講演いただけますこと感謝です。

松浦素明 先生 早速お話をさせていただきます。まず始めに杉並区の教育、次に和泉学園の教育を話します。

**1 杉並区教育ビジョン2022** みんなのしあわせを創る杉並の教育について教育委員会では、令4年度(2022年度)から概ね10年程度を期間とし、私たちが大切にしたい教育として「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を掲げた「杉並区教育ビジョン2022」を策定しました。策定にあたり、事前調査として、あなたが望む10年後のまちが実現するために (1) 調査 (2) 教育を取り巻く環境の変化 (3) 課題への国際的な取組 (4) 策定にあたっての基本的な考え方 (5) みんなのしあわせを創る杉並の教育、等を踏まえて 教育ビジョン2022 を作成。その経緯を次に示します。

(1) Q あなたができることやがんばろうと思うことは何ですか、ここでは小学生分を示します。

みんなにやさしくする 小1、 みんなで話し合う 小2、 困っている人がいたら助ける 小4、 地域の方々と交流する 小5、 自然を大切にしていきたい 小5、 ありがとうという 小5、 もっとこの町について知る 小6、

(2) 教育を取り巻く環境の変化

少子高齢化の急速な進展、人々の価値観や生活の多様化、人生100年時代、AI、気候変動など。

(3) 課題への国際的な取組 国連「誰一人取り残さない」「持続可能な開発目標(SDGs)」

「Sustainable Development Goals」の略称 これらの課題を自分ごととして受け止めるために学び合い、支え合う教

育を通して、社会を創り、担う当事者となることが求められています。

#### (4) 策定にあたっての基本的な考え方

教育ビジョン2012「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」の理念 <sup>プラス</sup> 十 尊厳の尊重(多様性、社会的共生、さまざまな権利)、SDGsの考え方

今日のような社会の転換期にあっては・明確な将来像を描くことは困難・変化や脅威、時代の要請にすなわかに対応していくことが大切。これらの課題を自分ごととして受け止めるために学び合い、支え合う教育を通して、社会を創り、担う当事者となることが求められています。

#### (5) みんなのしあわせを創る杉並の教育 教育ビジョン2022 の作成

##### 共に尊重し、大切にしたいこと

- |                         |                         |                       |
|-------------------------|-------------------------|-----------------------|
| 1 学び合い、信頼をつくり、<br>共に生きる | 2 ちがいを認め合い、<br>自分らしく生きる | 3 誰もが社会の<br>創り手として生きる |
|-------------------------|-------------------------|-----------------------|

##### 一人ひとりが教育の当事者として心がける視点

- |                 |                 |                |                  |                      |
|-----------------|-----------------|----------------|------------------|----------------------|
| 1 こどもの<br>思いを尊重 | 2 ちがいを<br>受け入れる | 3 対話を<br>大切にする | 4 学びの<br>成果を贈り合う | 5 社会を創る当事者として<br>考える |
|-----------------|-----------------|----------------|------------------|----------------------|

##### 教育行政の取組の方向性

人生100年時代を自分らしく 学びを通して誰一人取り残されない 教育の当事者が増え、学びのいきいきと生きるための学びの支援 社会を実現するための条件と環境を整える 成果贈り合いが広がるよう支援する

**基本方針 1 すべての子どもたちに学び続ける力を育む豊かな学びの機会を作ります**

**基本方針 2 一人ひとりの生きがいにつながる生涯にわたる学びを支援します**

**基本方針 3 学び合いと教え合いが広がる社会環境の整備・充実を図ります**

**基本方針 4 区民の学びを広げる人づくり・仕組みづくりを進めます**

家庭・地域・学校(園)の協働を 生涯に渡り誰もが学び合うこと 対面による学びのよさを生かしつつ、より一層充実させるとともに、学び ができるよう、身近な学校や社会 ICT の効果的な活用を図り、続ける力を育む学校教育を推進 教育施設を豊かな学や文化等に 一人ひとりの状況に応じた学びや支援 親しめる「学びのプラットフォーム」 として、これまで以上に活用

丁度コロナが蔓延したときに ICT の関連でタブレット端末が全生徒・子どもたちに配布され、現在授業・それ以外でも使い、フル活用されています。不登校の子も自宅でこれを使って学習しています。

**2 次に、教育のデジタル化の推進についてわが校の説明をします。**現在、デジタル化が進む中、対面による学びの良さを伸ばしつつ、個々に応じた最適な学び、探究によるデジタルの可能性を求め本校では多様性(ダイバーシティ・性別・国籍を問わない)の教育を掲げ・推進しています。外国にルーツのある子のためコミュニティー学級で多様性を認め合う教育を行っています。

**3 区の課題 部活動の地域移管** そのためには学校外の指導者の確保です。高くない時給で責任が重い。運営母体も必要となり、学校のニーズに応じた指導者選び、研修、コーディネート、謝金の支払い、報告などの実務を誰がするのか。一方、メリットとしては、学校外の指導者がウェブ上で出欠をとるので児童・生徒の選択幅が広がることも考えられます。文部科学省の取組みでは、地域移行は15年ぐらい前にありましたが、うまくできませんでした。教員はブラックだ、なり手が少なくなってきた。その理由の一つが部活動なんです。土曜日曜平日勤務外、こういうところで働いています。こういうことで若手のなり手が少なくなってきました。部活動中で怪我すると先生の責任になります。また、これまでたいした手当もなくやってきました。これを外部に移管しようとするものです。今年、高円寺中学校が新た

な取組みをやろうとしています。外部に部活動支援の経営組織があって、そこから指導員が派遣されます。

放課後の活動も派遣員が指導する。教員の方は放課後には出なくていい。このような取組みをすると2～3000万円の予算がかかります。こうなると23校の予算措置ができるのか心配です。今後どうするのか検討しているところです。

一方、富士見丘中学校では別のやり方で、平日は教員が指導し、土日は派遣指導員がみるやりかたでやっている、とのこと。いま、このような地域移行のやり方で試行しています。地域移行はあと4～5年で実施すると文部科学省が言っています。

#### 4 杉並区取組み 部活動は、実行計画によって組織の充実と指導員の配置によって部活動を支援してきました。

国においては技術指導、対外試合での引率など顧問の制度が平成29年4月に設立されました。部活動指援員と言うのは、顧問に代わって生徒の引率ができる。今までの外部指導員は教員がいなくて引率ができない。区内のいくつかの学校では、この制度を利用しています。本校では、陸上部とバドミントンは部活動支援員を導入しています。

#### 5 杉並和泉学園の教育

平成27年4月 新泉小・和泉小・和泉中が統合して杉並和泉学園が誕生。杉並区では小・中一貫教育校は和泉学園と高円寺学園の2校があります。この2校は、杉並区独自で行っていますので、東京都で言う小中一貫校と違い杉並区立小中一貫教育校では学園長は兼務発令で、東京都で言うと、私は杉並区立和泉中学校の校長で杉並区立杉並和泉学園小学部の校長を兼務。東京都に出す書類は小学校、中学校の書類を分けて、杉並区に出す書類には学園の書類と使い分けをしています。

- (1) 令和4年度「自立的・協働的な学校づくり」 目指す学園の姿では、多世代交流、異文化・異言語学習に重点を置き、「Diversity(多様性)を認め合う人が集う学園」、杉並区初の施設一体型小中一貫教育校です。
- (2) 3つのC 豊かにかかわる Communicate、ひたむきに挑戦する Create、新たに創造する Challenge、三つのCというのが教育目標になっており、それに基づいて学校経営計画を作って、多様性を認め合う学園を実現ということで取り組んでいます。
- (3) 平成27年10月 地域運営学校の指定を受ける。
- (4) 平成4年度 児童・生徒数

学年	仲よし	1年	2年	3年	4年	5年	6年	A組	7年	8年	9年	計
クラス数	3	5	5	4	4	4	4	3	3	3	2	40
人数	22	144	169	125	133	131	136	21	80	86	74	1121
計				860						261		1121

- (5) 小中一貫校の校長は中学校籍の校長がいて中学校の副校長1名、小学校は3名、副校長は合計4人います。
- (6) 9年間の学び 小中一貫校の良さは、小学校から中学校が一緒の学校にあるということです。よく小学生が中学校に入学したときに聞くことに「中一ギャップ」と言う「つまづき」があります。そこで、「不登校」と言うのが問題になります。ところが小中一貫校の場合はそういうのはあまりありません、実際の進路は、6割ちょっとが他の中学校に進学します。他の学校に進学しないと本校の教室が足りなくなります。杉並は他校を受験する生徒が多いです。本校は交通の便が良く、近くには私学も多いです。このような傾向を子どもたちは小学校時代から知っています。また、小学校時代から中学生と関わっていますので、中一ギャップは無いと思います。
- (7) 職員室は、1階の昇降口が見える場所にあります。先生たちは全員ここにいるので、小学生の様子も、中学生の様子も先生みんなで共有できます。「中1の〇〇さんって、小学校でもがんばり屋だった？」というような会話があります。学童クラブが、校舎の中にあい外に出て移動する必要がありません。
- (8) 充実の運動施設 小中の校舎にはそれぞれ体育館(アリーナ)があります。プールも2カ所あり、屋上に設置。屋上にはバスケットコートなどの運動施設があり、芝生の養生期間でも体を動かす場所には事欠きません。武道場は

3階にあり、たたみを敷けば柔道に、片付ければ剣道にも使えます。また、多目的室としても使えますので、学年集会などさまざまに活用できます。

- (9) 教育ビジョン2022を受け ① 小中学部の児童・生徒及び教職員の交流活性化 ② 異言語学習(英語教育)・日本の伝統文化や異文化を学ぶ ③ ICTの先進的活用による事業改善(個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実) ④ キャリア教育を中核に据え、探究的・協働的な学びを追求する小中一貫教育の充実 ⑤ 杉並和泉学園校区地域教育推進協議会ネットワークを生かした地域との協働・共創の教育等が行われています。
- (10) 充実の運動施設 小中の校舎にはそれぞれ体育館(アリーナ)があり、プールも2カ所屋上に設置。屋上にはバスケットコートなどの運動施設で、芝生の養生期間でも体を動かす場所には事欠きません。平成24年度から必修化された武道の授業が安心してできる専門の武道場があり、たたみを敷けば柔道に、片付ければ剣道にも使え、また「多目的室」としても使えますので、学年集会他さまざまに利用できます。
- (11) 特色ある活動 ① 地域との協働・共創の教育 ② 中運動会の小児童の応援 ③ 6学年のオーストラリア現地校とのオンライン交流会 ④ 明大とのワークショップ ⑤ 9学年の明大和泉キャンパスでの「大学生体験」。 以上

#### IV 障害者の自立を求めて( チャレンジド杉並 )

石井 功樹

「障害のない人はスポーツをした方が良く、障害のある人はスポーツしなければならない」これはスイスのオリンピック選手の言葉である。昭和36年、新卒1年目中学校に赴任した年に足が不自由の男子生徒も体育指導教頭職務の3年



間、知的に障害のある女性との出会いが原点である。退職後、運動をする機会の少ない障害者に、その人らしい自立した生活ができるように支援するため障害者が働く場「作業所」を訪ね、運動の種類を調査し、ボウリングが多いことから、床の上の「カーリング」の

「ユニカール」を指導して25年になる。運営は「杉並区 自立生活支援センター すだち」の

所長を中心として主に

「知的障害者」。現在5名が荻窪体育館、杉並障害者福祉会館、区立小学校体育館等で活動している。障害者の理解、指導法等の研修をはじめ、ユニカール協会は発足以来障害のある無しに関わらず、練習から大会まで一緒に活動してスポーツを楽しんでいる。

特に全国大会で100チームの中でグループ2位と注目された。ユニカール愛好者の支えがあって、これらの活動が評価され、10月28日都庁知事室で表彰された。

#### V 原稿募集 皆さんの原稿を募集しています。メール・Fax でご送付ください。

#### VI 編集後記

皆さんはいかがお過ごしでしょうか。東京都新型コロナウイルス感染者数情報では 3/5(日)705人、3/6(月)335人、杉並区感染者数は 3/4(土)で30人、3/5(日)6人です。このような中、近隣の学校では卒業式に向けての取組み中とのこと、教育活動の充実に向け園長・校長先生、先生方が尽力されていることに、敬意を表する次第です。

私事ですが銀杏中毒で理事会を急遽変更することとなり、ご迷惑をお掛けしたこと、誠に申し訳なく、お詫び申し上げます。現在は、元通りに回復しました。

東京都退職校長会は来年5/16(火)創立70周年記念式典を開催します。式典を支えるため皆様のご協力を、お願い申し上げます。皆さんから忌憚のないご意見をいただき、会の充実を図ってまいります。 井口 茂

